



# 頸城支所だより

令和5年6月25日発行

発行：上越市社会福祉協議会頸城支所 住所：上越市頸城区百間町615番地2  
TEL 025-530-4361 FAX 025-530-3872

## 「笑顔と希望があふれ、 WA でつながるまち くびき」を目指して



### 【上越市社会福祉協議会 地域福祉事業のご紹介】

**意識**をはぐくむために

#### 福祉教育推進事業

「ふくし」は⑤だんの㊦らしの㊧あわせです。  
様々な体験や、話を通じて地域に住む全員が幸せ  
になるためにはどうしたら  
よいか一緒に考えます。  
イベントなどを通じて、福祉  
にふれる機会を提供して  
います。



**活動する人をつくる**ために

#### ボランティア研修会

ボランティアを始めてみたい方、ボランティア活  
動の幅を広げたい方々に向けて研修会を年2回実  
施しています。  
自分の趣味や特技を  
生かし、身近な活動  
から始められるよう  
にサポートします。



**仕組み**を作るために

#### 地域懇談会

地域の方々福祉課題などを  
把握し、自分事として考える機会をして、  
懇談会を実施しています。  
ふれあい支えあいマップ  
の手法を用いて、お互いを  
気にかけて見守りあう仕組み  
を作ります。



**活動**を行うために

#### ふれあいいきいきサロン

ふれあいいきいきサロンは地域の皆さんが主体と  
なり、歩いて行ける場所で気軽に集まり、交流する  
場所です。おしゃべりしたり、体を動かすことで、  
心も体も元気になる居場所を作りに向けて、助成金  
の交付や健康体操のお手伝いをしています。  
サロン運営者同士の情報交換  
(サロンボランティア研修会)  
も実施しています。



# 支えあいマップ 見直しませんか？



支えあいマップは複数人が集まり  
住宅地図上に誰でも知っている情報を  
記入することで、地域の実情を把握し、  
助け合いの仕組みを作る手法です。

<作成例>

①ご近所で心配な情報を記入

- ・一人暮らしで気になる方
- ・災害発生時に自力避難が困難な方
- ・空き家

→見守りの必要性などに気付く

②住民同士のつながりを記入

③担い手になる人を探す

→解決のヒントになることも



1994年地域の実態把握の手法として住民流福祉総合研究所  
木原孝久氏が発案

頸城区内でも多くの町内会様が支えあいマップを作成しましたが、時間の流れと共に状況も変化しています。知っているようで知らないことも見えてきます。「今必要なこと」、「これから必要なこと」、「有事の際に必要なこと」などを一緒に考えてみませんか。

頸城支所  
(☎530-4361)へ  
連絡をお願いします。  
事前打合せの日程を  
相談します。

- ・地図作成範囲
- ・協力者
- ・日時、会場  
など打合せします。

- ・社協が持参した住宅地図に必要な情報  
を書き込みます。
- ・必要に応じて見えてきた課題を話し  
合います。
- ・保管場所、見直し時期を相談します。

相談

事前打ち合わせ

作成当日

見直し

頸城支所だよりは、赤い羽根共同募金配分金を活用し発行しています。

